

スズメバチにご注意ください

近年、管内の果樹園で果実を食べているスズメバチが複数報告されています。

夏に雨が少なく気温が高いと、スズメバチが大量に発生する可能性が高くなるため、今秋も園地での遭遇に注意してください。



(2023 年 10 月 23 日撮影、黒部市)



(2021 年 9 月 20 日撮影、魚津市)

身を守るために

- スズメバチの活動が活発になる秋口は、黒色の服や匂いの強いものを身に着けないようにしましょう。
- 園地で採餌中のスズメバチに遭遇した場合は、急に向きを変える、タオル等で追い払う等のハチを刺激する行動を避け、ゆっくり後ろに下がりながらその場から離れましょう。
- 刺された場合は、速やかに安全な場所まで移動し、毒を絞り出しながら（口で吸い出すことは危険です）患部を流水でよく洗い流したのち、抗ヒスタミン剤を含むステロイド軟膏を塗り、保冷剤等で冷やし安静にしましょう。痛みが強い場合やアレルギーが心配な場合は医療機関を受診してください。

※緊急を要する症状（吐き気、腹痛、冷汗、呼吸の苦しさ、じんましん、めまい等）が出た場合は、直ちに救急車を呼んでください。その際、自分で対応できなくなる場合があるので、周りの人に刺されたことを伝えておきましょう。

捕獲を試みる場合 (スズメバチトラップの作り方)

＜準備するもの＞

- ・2L のペットボトルの空容器 1 個
- ・ペットボトルを吊り下げのための紐または針金 適量
- ・誘引液（例 1 ～ 2 参考、材料をすべて混ぜる）

（例 1）ベイト液

酒	300ml
酢	100ml
砂糖	100g

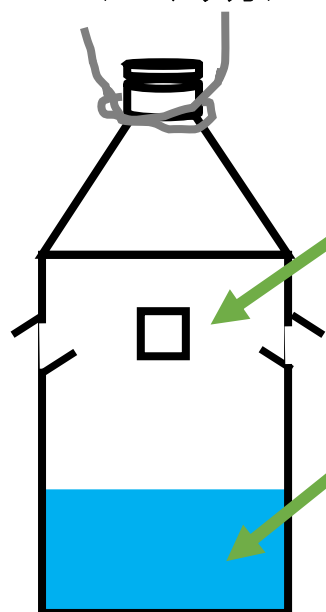
（例 2）究極の誘引液※

葡萄ジュース（果汁 100%）	500ml
芋焼酎	250ml
酢	100ml
砂糖	150g

※参考にしたサイト

<https://mb.hamanako-fish.work/hornet-trap-recipe/>

＜つくり方＞



イメージ

入口は、4 面に 1 か所ずつ作る（H 型に切れ目を入れて上側を外に曲げ雨よけにする、下側は内に曲げる）
入口のサイズ：12.0×12.0 mm～15.0×15.0 mm

誘引液は 250～500mL 程度いれておく

トラップの設置高：0.5～1.5m（作業しやすい高さで十分）
（※モンズズメバチは高さ 5m で捕れやすいとの報告もあります@神奈川）
普段、人が通行する場所を避け、直射日光のあたらない木陰に設置する

この資料は、スズメバチの捕獲を勧めるものではありません。
スズメバチの捕獲は、自己責任で行ってください。